

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	必修	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK210	科目名	保育原理	担当者名	坂本明裕
授業の概要	子どもの発達を援助し、生活を豊かにするための「保育」についての基礎事項を学ぶ。保育の理念や保育の役割、制度、実践などについて、保育所保育指針をもとにして学んでいく。				
科目の到達目標	①保育者として必要な保育の意義、目的、保育の思想や歴史についての理解する ②子どもを援助する上で必要な保育についての計画、及び保育の方法についての基礎事項を理解する。				
DPの観点	①聴く力(20%)、⑥専門知識・技能(60%)、⑨主体性(20%)				
授業時間外学修(予習・復習)	各章の基本的な内容については、テキストの該当箇所を熟読するなど、事前・事後の学習による理解が求められる。学習時間は、事前、事後を合わせて60時間を確保し、学習した内容については、ワークシート等によりまとめを行う。				
フィードバックの方法	ワークシートの成果については、前回ロイロへの提出を求め、次回授業においてフィードバックする。				
単位認定の要件	ワークシート、ロイロなどによる毎時間の授業の理解、及び期末テスト等で合格の基準を満たすこと。				
評価の方法・割合(%)	ワークシート及びレポート提出50%、期末試験50%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			保育とは何か	①⑥⑧	ロイロ、ワークシート
2			権利の主体として子ども	①⑥	ロイロ、ワークシート
3			保育が行われる場	①⑥	ロイロ、ワークシート
4			保育者に求められる資質と専門性	①⑥	ロイロ、ワークシート
5			諸外国の保育思想	①⑥	ロイロ、ワークシート
6			日本の保育の歩み	①⑥	ロイロ、ワークシート
7			保育における子ども観・発達観	①⑥	ロイロ、ワークシート
8			保育の基本	①⑥⑧	ロイロ、ワークシート
9			保育の目標と内容	①⑥	ロイロ、ワークシート
10			保育の方法と進め方	①⑥⑧	ロイロ、ワークシート
11			保育の計画と保育の質の向上	①⑥⑧	ロイロ、ワークシート
12			子育て支援と地域連携	①⑥⑧	ロイロ、ワークシート
13			海外の保育の動向	①⑥	ロイロ、ワークシート
14			保育を巡る今後の課題	①⑥⑧	ロイロ、ワークシート
15			全体のまとめ、及びまとめの試験	①⑥	ロイロ、ワークシート
期末試験					

使用テキスト	豊田和子編『実践を創造する保育原理』(みらい)
参考文献・参考URL	『保育所保育指針解説』(フレーベル館)
備考	

10の観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--